

伊勢崎市優秀学習指導案 小学校

【令和元年度まで】

NO	校種	教科	学年	単元名(題材名)		手立て等	年度	月
1	小	体育	1	まねっこだいぼうけん	体づくり運動遊び	基礎的な運動を、友達の動きをまねすることで工夫した動きを考えることができる	H31	10
2	小	体育	1	ボールなげゲーム		的あてゲームにおいて、前時の学習経験を基に攻め方の作戦を話し合う	H27	10
3	小	体育	1	マットを使った運動遊び	「マット名人になろう！」	身につける学習を明確にし、個々の練習場所にあった学習の展開	H26	10
4	小	体育	1	とびばこあそび		ペア同士で簡単な補助やアドバイスをして学習カードに合格シールを貼る	H13	11
5	小	体育	2	器械・器具を使つての運動遊び	「跳び箱を使つての運動遊び」	器具の配置や友達との関わり方を工夫	H29	11
6	小	体育	2	器械器具を使つての運動遊び	マットを使った運動遊び	ペアで「技のポイント」を視点に動きを見せ合ったり、アドバイスしたりする活動の設定	H27	11
7	小	体育	2	跳び箱遊び		友達の動きを見て参考にさせる	H18	11
8	小	体育	2	ボールなげゲーム		投げる教具や場を工夫する	H17	11
9	小	体育	2	表現リズム遊び		アドバイスカードを使って、相手を認めたり、自分が認められたりする活動を取り入れる	H13	10
10	小	体育	2	かけ足		個々の能力に応じたコースを選択し、設定された時間の中で、一定のペースを守る	H11	11
11	小	体育	2	ボール蹴りゲーム		ゲームの前後に、チームの話し合いの時間を確保する	H10	12
12	小	体育	3	体づくり運動	かけ足	自分にあったコースを選択し、一定のペースで運動に取り組む	H27	11
13	小	体育	3	プレルボール	ネット型ゲーム	協力チームを設け、互いにアドバイスを交換し合う	H25	11
14	小	体育	3	ポートボール		チーム全員にパスが回るようにルールを工夫する	H11	11
15	小	体育	4	ティーボール	ベースボール型ゲーム	球を正確に投げ捕球する方法を学習する	H25	
16	小	体育	4	小型ハードル走		シンクロリズム走をする	H23	11
17	小	体育	4	ハンドベースボール		ゲームを通して感覚的及び論理的に、球を正確に投げ捕球する方法を学習する	H19	10
18	小	体育	4	高跳び		グループで協力して考えさせる	H18	11
19	小	体育	4	バスケット型ゲーム		兄弟チームからの助言やエールタイムを取り入れる	H17	11
20	小	体育	4	ポートボール		ゲームの前後に話し合いの時間を確保する	H13	11
21	小	体育	4	跳び箱運動		計画や準備、遊び方の説明を児童にさせる	H10	11
22	小	体育	4	障害走		自分にあった高さやインターバルのコースに取り組み、繰り返し練習する	H10	10
23	小	体育	5	跳び箱運動	(B 器械運動)	ICT機器を活用し、自分の動きを客観的に見たりして動きを正確に捉えさせる	H30	10
24	小	体育	5	ティーボール(ベースボール型ゲーム)		「投げる」場面において、投げ方ポイントや作戦について話し合い、より良い動きでゲームを楽しむ	H28	9
25	小	体育	5	走り幅跳び	陸上運動	グループ活動で手拍子によるリズムをつけたり、互いに見合いアドバイスしたりする	H25	10

伊勢崎市優秀学習指導案 小学校

NO	校種	教科	学年	単元名(題材名)		手立て等	年度	月
26	小	体育	5	バスケットボール		パスの出し方やサポートの動きを取り出して練習する	H22	11
27	小	体育	5	マット運動		シンクロマットを通し、連続技を集団で作り上げるという活動をする	H21	10
28	小	体育	5	走り高跳び		ゲストティーチャーを招いて専門的なアドバイスを受けながら練習に取り組む	H20	11
29	小	体育	5	跳び箱運動		集団で練習や演技に取り組む	H13	11
30	小	体育	5	走り高跳び		動きに着目した話し合い活動(意見交流)をさせる	H10	11
31	小	体育	6	器械運動	跳び箱運動	互いに技のポイントを見合い、自分の課題にあった場で練習する	H26	10
32	小	体育	6	体力を高める運動	体づくり運動	教師が工夫した動きを提示する	H25	10
33	小	体育	6	走り高跳び		グループ中心の学習を行う	H16	10
34	小	体育	6	病気の予防(たばこの害)		有害性を知るための実験を行い発育期の喫煙の危険性について理解させる	H15	11
35	小	体育	6	体ほぐし運動		相互評価や振り返りカードを活用する	H14	10
36	小	体育	6	持久走		個に応じた目標を集団で共有し、集団で教え合ったり励まし合ったり、競走したりする	H14	11
37	小	体育	6	バスケットボール		解決方法をアドバイスし合う	H12	11
38	小	体育	6	マット運動		話し合い活動を取り入れたたり、設定を児童に考えさせる	H11	11
39	小	体育	6	病気の予防(エイズの予防)		皮膚の模型を使った実験を行う	H10	11
40	小	体育	6	走り高跳び		グループ活動の中でチームカードを活用させる	H09	11

【令和4年度から】

NO	校種	教科	学年	単元・題材名		参考となる内容等	年度	月
41	小	体育	5	ボール運動 ネット型「テニピン」		5年、6年と2学年での実施を意識した授業内容が参考になる 新スポーツであり、普及を目指すとともに、低位の児童も取り組みやすく、他の学校でもすぐに実践できるようなわかりやすい指導計画になっていることが参考になる 振り返りカードがタブレットをうまく活用した形になっていることが参考になる 体育専門でなくてもわかりやすい言葉でまとまっており、授業の流れがつかみやすいことが参考になる	R4	10
42	小	体育	5	ボール運動 ネット型	ソフトバレーボールを基にした簡易化されたゲーム	タスクゲームの簡易ネットの工夫や、言葉が分かりやすく授業イメージをもてるものが参考になる	R5	10
43	小	体育	3	球技	タグラグビー	立ち位置、集合場所、道具の配置、運動の方向性などの配慮や、児童の反応を予想した動画による適切なフィードバックが参考になる	R5	10
44	小	体育	5	陸上運動(ハードル走)		・目標タイムに近づくための練習が、課題に応じて自分で4つの練習方法から自己選択するばめんがよい。	R6	9
45	小	体育	5	陸上運動(走り幅跳び)		・本単元において、身につけさせたい力や学びについての指導の手立てが明確に書かれており、適切であった。 ・指導計画が具体的、かつ、段階的な計画となっており、模範となるものであった。	R6	10